

## 中長期的に目指すべき理想の年代構成，職位構成に関する目標

令和4年9月21日開催 教育研究評議会決定  
令和5年9月20日開催 教育研究評議会更新

本法人では、「国立大学法人大分大学における教員選考の基本方針」を策定し，法人における教育研究，社会貢献等の機能の充実や発展を期するため，法人で行う教員の選考に関し，基本的に尊重すべき方針を定めています。

この度，この方針の第6「人事給与とマネジメント改革」の（2）「中長期的に目指すべき理想の年代構成，職位構成に関する目標を定め，ホームページにおいて公表する。」に基づき，教育研究の活力を維持・進展させ，持続可能な組織運営体制を構築することを目指して，年齢や職位の構成等の偏りによる組織の硬直化を避けるために，人事給与とマネジメント改革の一環として，適正な年齢構成及び職位構成の目標値を設定しました。

理想の年代構成については，「科学技術・イノベーション基本計画（第6期）」において，研究力強化の観点から「将来的に，大学本務教員に占める40歳未満の教員の割合が3割以上」という数値目標が定められていることに鑑みて，最終的に40歳未満の若手教員比率を30%以上とすることを目標とします。

一方で，第4期中期目標期間においては，新たに導入したキャップ制による全学人事管理に基づき，各部門から提出された令和9年度までの人員配置計画をベースとし，今後の自然変動要因（教員年齢の年次進行，定年退職，新規採用等），運営費交付金に占める人件費支出の適正化や理想の年代構成の実現に向けた人事給与施策の実施等を踏まえた将来推計により，令和9年度までに，現在，19%である40歳未満の若手教員比率をまずは25%とすることを目標としました。

目標達成後，さらに長期的には若手教員比率を30%以上に引き上げるため，継続的に見直しを行います。

【表1 目指すべき理想の年代構成】

目標：令和9年度までに若手教員（40歳未満）比率25%以上				
	40歳未満	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
R5.5.1 現在の年代構成（比率）	19%	35%	29%	17%
（参考） R4.5.1 現在の年代構成（比率）	19%	36%	30%	15%
目指すべき理想の年代構成	25%	30%	30%	15%

理想の職位構成については、職位構成の偏りによる組織の硬直化を避けるべく、最終的に助教：講師及び准教授：教授＝1：1：1とすることを目標とします。

一方で、第4期中期目標期間においては、理想の年代構成の目標設定に連動して、40歳未満の若手教員の割合を増やすために、若手層で構成される助教、講師の人数を確保しつつも、職位ごとの人数の偏りの是正を図ることを念頭に、現在の助教：講師及び准教授：教授＝1.3：1.3：1をまずは1.2：1.2：1とすることを目標としました。

目標達成後、さらに長期的には助教：講師及び准教授：教授＝1：1：1に近づけるため、継続的に見直しを行います。

**【表2 目指すべき理想の職位構成】**

目標：令和9年度までに助教：講師及び准教授：教授＝1.2：1.2：1						
R5.5.1 現在の職位構成	職位	助教	講師	准教授	教授	合計
	人数	226人	75人	151人	176人	628人
	比率	36%	12%	24%	28%	100%
		1.3	1.3		1	
(参考) R4.5.1 現在の職位構成	職位	助教	講師	准教授	教授	合計
	人数	223人	73人	149人	175人	620人
	比率	36%	12%	24%	28%	100%
		1.3	1.3		1	
目標とすべき理想の職位構成 (総人数の変動がないものと仮定した場合)	人数	214人	112人	108人	186人	620人
	比率	35%	18%	17%	30%	100%
		1.2	1.2		1	